

# トワーム通信第44号

医療法人社団松弘会  
介護老人保健施設トワーム熊谷  
埼玉県熊谷市小曾根337-1  
TEL: 048-599-3377

2024年2月発行

## トワーム神社参拝

2024年が始まりました。  
今年もトワーム神社が1階ダイフロアに登場！！  
デイケア利用のお客様はもちろん、  
療養棟のお客様も1階に降りて来て参拝しました。  
手作り絵馬にお願い事を書き、  
鈴を鳴らして神様にお祈り・・・と、  
かなり本格的なトワーム神社。  
面会制限が解除になったので、  
ご家族がいらした際に一緒にお参りされる方も・・・。  
「まさか初詣に来れるなんて思わなかったわ。」と、  
大変喜ばれたお客様もいました。  
来年はおみくじを引けるようになっていたり?!(笑)



## ご来訪の皆様へ

日頃より当施設の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当敷地内では、利用者の方々や職員、業者さんなど、多くの方が行き来しております。また、近隣の方も当施設周辺を散歩などされている方が多くいらっしゃいます。

お車でお越しの際は歩行者に注意して徐行運転をしていただき、敷地内を出る際には必ず一時停止をして左右確認してから発進していただきますようお願い致します。

運転マナーをお守りいただき、皆様が安全にご利用することができるよう、ご協力の程よろしくお申し上げます。

## ★トワーム熊谷施設イベント★

- ・デイケア利用者様・入所者様対象となります。
- ・(入所者様はご家族様と面会時間を合わせて頂き、一緒に買い物頂けます。尚、ご家族負担で購入となります。)
- ・お支払いは現金のみとなります。
- ・しまむら価格での販売となります。
- ・購入は任意です。同時刻はレクリエーション提供あります。
- ・売れ行きによっては早めに販売終了する場合があります。

2024年2月16日(金) 13:30~14:30  
トワーム熊谷 1F デイケアフロア

## 衣類出張販売会 ふくまる



## トワーム熊谷自慢のお食事紹介コーナー



### スマイルホリデー 東京



- ★深川飯
- ★ちゃんこ風鍋
- ★きんぴらごぼう
- ★小松菜の柚子浸し
- ★芋ようかん

#### 深川飯

江戸時代東京湾はアサリ漁が盛んでした。栄養価が高く、忙しい漁の合間に手早く作ることができる深川飯が漁師飯として定着し、のちに一般家庭でも食べられるようになったそうです。現在は「ぶっかけ」と「炊き込み」の2種類があります。

#### 芋ようかん

明治時代、高価な練りようかんの代わりに芋問屋と菓子職人が一緒に作りだした和菓子。売りにならない「くず芋」を使用していたため、安価で手に入りやすい芋ようかんは庶民にとっても歓迎されていたそうです。

## STとは?

言語聴覚士はST (Speech-Language-Hearing Therapist) と呼ばれ、「話す」「聞く」「食べる」といった機能に課題を抱えている方たちに、専門的な評価やリハビリテーションを実施し、自分らしい生活が出来るように支援するスペシャリストです。言語聴覚士の国家資格は、1997年12月の国会で言語聴覚法が制定され、2023年には有資格者数は、4万人近くとなりました。言語聴覚士は、「コミュニケーション障害」を持つ人に対して、その人の自立と社会参加を支援しています。特に高齢者においては、加齢や疾患により下記のような問題が生じる場合があります。言語聴覚士によるリハビリテーションは機能回復に向けた訓練・指導と共に、心理的なサポートも行なって参ります。



【失語症】  
上手く話せない  
話が理解できない



【摂食・嚥下障害】  
上手に飲み込めない  
上手に噛めない

【認知症】  
忘れやすい  
思い出せない

【聴覚障害】  
何度も聞き返す  
テレビの音を大きくする

こんなことで困っていませんか?

## 施設長 矢島の独り言

天正18年(1590年)徳川家康は秀吉の命令で5カ国(駿河・遠江・三河・甲斐・信濃)を召し上げられ、北条氏の旧領である関八州(武蔵・伊豆・相模・上野・上総・下総・下野・常陸)に移封されました。家康は太田道灌が1457年に築城した江戸城に入城しました。多くの家臣が江戸に移住しましたが、1600年の江戸の人口は6万人でした。1609年頃の江戸の人口は15万人でしたが、1635年三代将軍家光が玉川上水を造り、参勤交代制を施行した為1650年には江戸の人口は43万人に増大し、1750年には北京やロンドンを抜いて世界一の110万人都市に変貌しました(図: 明治になって人口が減ったのは、戊辰戦争、江戸開城の為)。

江戸の町は海岸や湿地を埋め立てた土地の為、井戸を掘っても上質な飲料水が得られませんでした。1652年幕府は玉川の水を江戸に引き入れる壮大な計画を立てました。総奉行に老中松平信綱公(1596-1662年)、水道奉行に関東郡代の伊奈半十郎忠治(1592-1653)が命ぜられました。工事を請け負ったのは農民の庄右衛門、清右衛門の玉川兄弟でした。工事は1653年4月に着工し約8ヶ月後に完成しました。玉川上水は羽村取水口から四谷大木戸までの43kmを標高差僅か92mの緩勾配を自然流下方式で流す流水路で失敗を重ねる難工事でした。伊奈忠治は工事が完成する3ヶ月前に心労の為急死しています。伊奈忠治は関東郡代として関八州の多くの新田開発、河川改修、治水工事を行い、江戸川開削、利根川東遷、荒川西遷事業などを担当しました。

松平伊豆守信綱公は島原の乱(1637年)鎮圧の勲功により寛永16年(1639)に忍藩主(3万石)から川越藩主(6万石)に移封されました。玉川上水を完成した功績により川越藩領内の乾燥した大地へ分水する野火止用水の工事を許可されました。野火止用水は立川市で玉川上水から分岐して、小平市、東大和市、東村山市、東久留米市、清瀬市、新座市、朝霞市を通って志木市に至る全長24kmの用水路です。野火止用水の開削によって生活用水に難渋していた人々の生活が豊かになったことを感謝して、別名「伊豆殿堀」と呼ばれるようになりました。信綱公は上水工事ばかりでなく、島原の乱、由井正雪の乱などの国難も知恵才覚によって上手く凌いだ為、誰云うともなく「知恵伊豆」と呼ばれるようになりました。

近世における三都(京都、大阪、江戸)の人口推移

